

管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

1. 発生日時: 令和4年 4月 25日(月) 16:30頃
2. 発生場所: E1A 新名神高速道路 菰野IC(一般道への接続道路)
3. 作業内容: 集中工事準備に伴う規制材(ラバーコーン)運搬作業
4. 事象概要: 東名阪集中工事準備のため、みえ川越基地にあるラバーコーンを菰野基地に運搬する作業を実施していたところ菰野IC料金所を通過し交差点までの接続道路で車両が横転したもの。
事故車両は1名乗車。荷台にはラバーコーン540本を積載していた。(飛散防止ネット・ロープ掛けは実施済み)
 - ・ラバーコーン1本あたりのラバコーン重量.....4.2kg
 - ・ラバーコーン積載本数.....540本
 - ・積載物(規制材)積載重量.....2,268kg
 - ・トラック最大積載量.....3,959kg
 - ・走行速度20km/h(本人申告)
5. 被災状況: 物損被害:(当方) 車両横転(レッカー作業)
(相手方) 該当無し
道路損傷:ポストコーン3本
人的被害:運転手が右腕を擦りむき(少し出血あり)⇒通常搬送で病院へ搬送
※レントゲン検査では異常なし。腕と腰の打撲。
⇒4/26午後再度 総合病院を受診し、診断書受領。
診断:腰椎捻挫・右前腕擦過傷(受傷日より1週間の局所安静加療)※休業無し。

6. 運転手のアルコールチェック状況と健康状態について

■ 運転手については、業務開始前にアルコールチェックを行いアルコールは検出されていない。

※ [redacted] において確認済

■ 運転手の当日の健康状態においても問題は無かった。(本人へのヒアリング結果)

7. 車両整備について

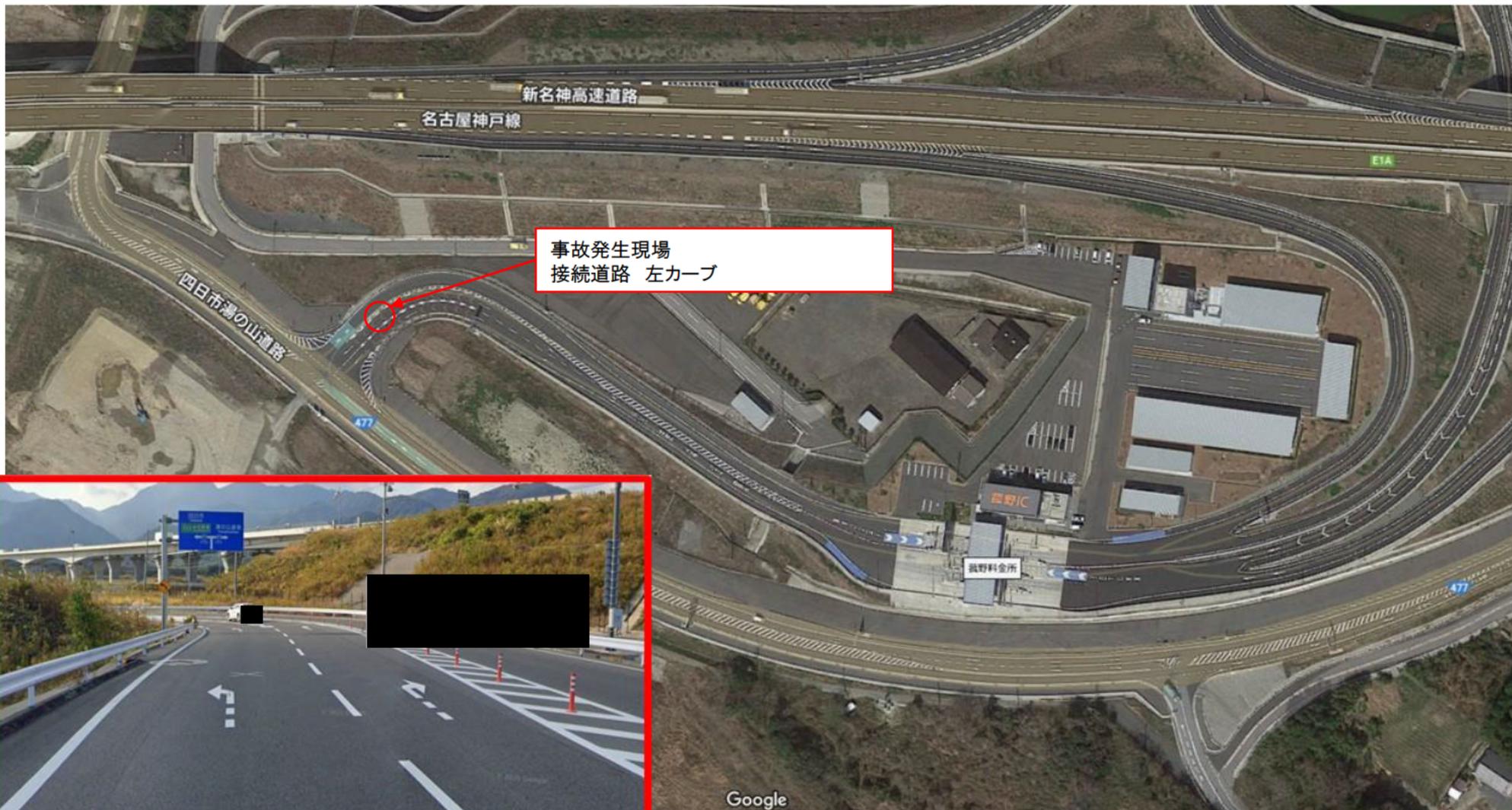
■ 当車両はレンタカーでありレンタカー借り受け時、ならびに当日日常点検は実施していた。

8. 路面状況について

■ 路面は乾燥状態で、滑りやすい状況では無かった。

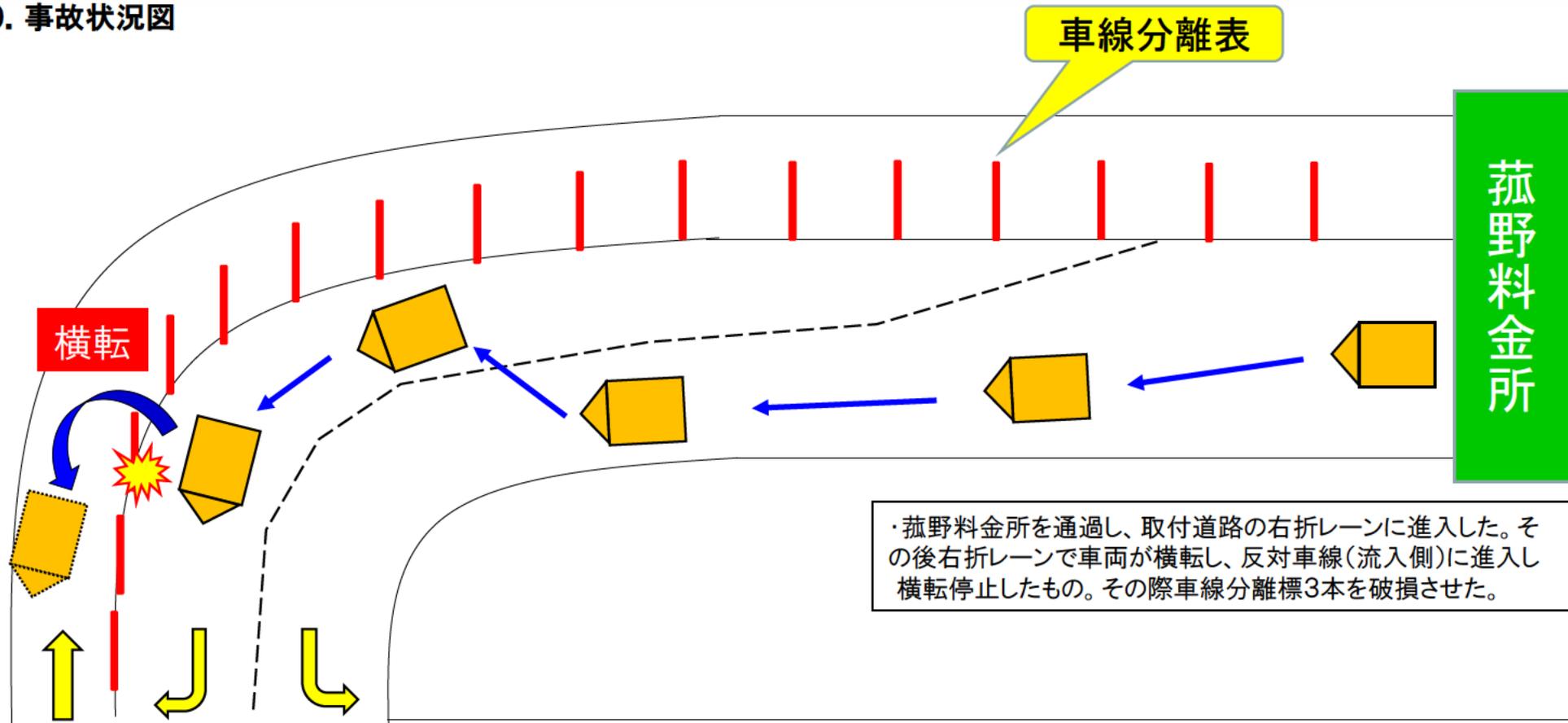
管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

9. 発生箇所(航空写真)



管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

10. 事故状況図



一般道

管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

11. 状況写真



道路損傷

管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

12. 緊急安全大会の小集団活動における意見と対策について

【原因①】

ラバーコーンの積載高さが高く、バランスが悪かった。

高さ20本のラバーコーンを積載したため、高積みとなりバランスが悪かった。

【対策①】

ラバーコーンの積載高さを下記のとおりとする。高積みを抑えてバランスよく積載をする。

両端(あおり横)・・・コーン高さ10本以下

上記以外(真ん中)・・・コーン高さ15本以下

当日の積載状況(再現)

(対策)コーン高さ



※再現写真では、積み荷が確認しやすいよう飛散防止ネットを外しています。



※本数が分かりやすいよう隙間を開けて撮影しています。

管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

12. 緊急安全大会の小集団活動における意見と対策について

【原因②】

積載していたラバーコーンの両端に隙間があり、積載物が滑った(転倒)可能性がある。

【対策②】

積載は隙間が極力無いよう積載を行い、積載物が滑らないようにする。

ラバーコーン・看板・土嚢等で隙間を埋め、ロープで固定し飛散防止ネットの設置を行う。



※再現写真では、積み荷が確認しやすいよう飛散防止ネットを外しています。



管内維持修繕業務 ラバーコーン運搬時における車両横転事故

12. 緊急安全大会の小集団活動における意見と対策について

【原因③】

右折車線への車線変更が、下り坂の左カーブに差し掛かったところで行ったため遠心力が強く働いたと想定。(速度は20km/hと運転手に確認済み)。また、不慣れな4tトラックを運転したため車両の挙動に対応ができなかった(遅れた)のではないかと推定される。

【対策③】

車線変更については、カーブで行うのではなく手前から徐々に右折車線へ入る。また、当箇所は線形勾配では20km/hでも荷物を積載した状態では速度が速いため、徐行とする。

不慣れな車両を運転する場合は、普段の運転より更に気を付けて、速度を落とし無理な運転は行わないこととする。また、朝礼時に運転する車両について作業責任者と安全確認を行い、出発前に2名以上で積み込み状況を確認する。



→ 今回の事故車両の走行軌跡

→ 車線変更の正しい走行軌跡